



2025年10月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年3月10日

上場会社名 萩原工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7856 URL <https://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅野 和志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員事業支援部門長 (氏名) 藤田 学 TEL 086-440-0860

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期第1四半期の連結業績(2024年11月1日～2025年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第1四半期	7,837	3.4	364	43.4	472	26.9	844	95.7
2024年10月期第1四半期	8,111	5.8	643	113.5	646	110.9	431	75.3

(注) 包括利益 2025年10月期第1四半期 1,363百万円 (747.3%) 2024年10月期第1四半期 160百万円 (87.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第1四半期	60.74	60.24
2024年10月期第1四半期	31.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期第1四半期	42,846	30,023	69.9
2024年10月期	42,583	29,098	68.1

(参考) 自己資本 2025年10月期第1四半期 29,938百万円 2024年10月期 29,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期		25.00		35.00	60.00
2025年10月期					
2025年10月期(予想)		30.00		35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年10月期の連結業績予想(2024年11月1日～2025年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,780	2.5	1,160	10.7	1,210	15.6	1,340	36.7	97.64
通期	34,000	2.7	2,400	14.4	2,500	14.2	2,230	46.9	162.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年10月期1Q	14,897,600 株	2024年10月期	14,897,600 株
期末自己株式数	2025年10月期1Q	965,073 株	2024年10月期	1,012,573 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年10月期1Q	13,904,260 株	2024年10月期1Q	13,714,427 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、エネルギー価格の高止まり、各国経済の減速見通し、不安定な為替相場等の影響により、依然として不透明な状況が続いております。脱炭素化の世界的な流れは、米国の政権交代による政策変化などで一部の国や市場で停滞が懸念されるものの、中長期的には各国政府の方針に基づき、企業の設備投資の拡大が引き続き期待されております。

国内経済においては、個人消費や企業収益の回復によって経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善するなど緩やかな回復基調で推移しましたが、中東・東欧地域の情勢悪化や中国経済の減速、為替の影響、エネルギー価格や原材料価格の高騰等により、景気の先行きが不透明な状況に変化はありません。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、各種物価の高騰を念頭に製造面・販売面において採算性に重点をおいた活動を行い、収益の改善に注力してまいりました。

その結果、売上高78億37百万円（前年同四半期比3.4%減）、営業利益3億64百万円（前年同四半期比43.4%減）、経常利益4億72百万円（前年同四半期比26.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億44百万円（前年同四半期比95.7%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益が大きく増加している理由は、笠岡工場建設に伴い交付決定された補助金8億円を特別利益に計上したためであります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

[合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、人工芝用原糸はスポーツグラウンド、インテリア、ゴルフ練習場用途で好調に推移、輸出関係は円安の効果もありラミクロスが引き続き好調、包装資材用途のメルタックは前期末に物流混乱を見越した前倒し出荷をした反動で減収となったものの旺盛な需要が続いております。一方、建築、土木関連の需要減少でブルーシート、土のう等が低迷、コンクリート補強繊維「バルチップ」は海外の鉱山市場における競争環境の激化により減収となりました。

インドネシア子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」は、バルチップの生産量は減少しましたが、インドネシア国産優遇政策の影響で同国内販売は増収となりました。また、国内子会社「東洋平成ポリマー株式会社」は、飲料水用フィルムの大口需要があり、増収となりました。

費用面では、笠岡工場の新規設備稼働に伴う減価償却費増加及び基幹システム更新費用の計上がありました。

その結果、売上高64億88百万円（前年同四半期比4.1%減）、営業利益2億80百万円（前年同四半期比48.7%減）となりました。

[機械製品事業]

機械製品事業におきましては、紙スリッターは紙記録媒体の需要減少で記録紙用スリッターが低調となりましたが、機能紙用スリッターでは自動化省人化を進めた機種が好調でした。フィルムスリッターは、底堅い軟包装材料用スリッター販売に加え、中国向けフラットパネルディスプレイの構成材料用スリッターなど、工業用途のスリッター販売も好調でした。リサイクル関連は、前期に大型物件の売上があったため減収となりましたが、需要拡大の傾向が続いており、プラスチックリサイクル用常設試験機を用いて、自動車部品や消費財関係の需要取り込みに努めております。

その結果、売上高13億48百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益83百万円（前年同四半期比13.3%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は428億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億63百万円の増加となりました。資産の部では、流動資産は214億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億96百万円の減少となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少したこと等によります。

固定資産は、213億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億59百万円の増加となりました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる補助金収入による長期未収入金が増加したこと等によります。

負債の部では、流動負債は82億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億11百万円の減少となりました。これは主に賞与引当金及びその他に含まれる前受金が減少したこと等によります。

固定負債は、45億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億50百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が増加したこと等によります。

純資産の部は300億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億25百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金及び為替換算調整勘定が増加したこと等によります。この結果、自己資本比率は69.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月10日に公表いたしました業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,600,521	5,198,231
受取手形及び売掛金	6,303,239	4,931,962
電子記録債権	2,646,073	3,057,027
商品及び製品	2,345,842	2,604,328
仕掛品	2,970,340	3,198,546
原材料及び貯蔵品	1,441,489	1,644,061
その他	668,277	845,379
貸倒引当金	△27,068	△27,471
流動資産合計	21,948,716	21,452,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,398,693	7,380,611
機械装置及び運搬具(純額)	3,577,266	5,094,514
工具、器具及び備品(純額)	417,826	393,612
土地	3,678,023	3,678,023
建設仮勘定	3,104,362	1,874,484
有形固定資産合計	18,176,173	18,421,246
無形固定資産		
のれん	83,333	77,083
その他	382,264	368,776
無形固定資産合計	465,598	445,859
投資その他の資産		
保険積立金	358,201	312,078
その他	1,634,503	2,215,183
投資その他の資産合計	1,992,705	2,527,262
固定資産合計	20,634,476	21,394,368
資産合計	42,583,192	42,846,433

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,933,288	1,768,718
電子記録債務	1,585,563	1,686,326
短期借入金	1,826,008	2,067,109
未払法人税等	203,507	446,093
賞与引当金	656,454	352,315
製品保証引当金	48,943	48,943
その他	2,544,410	1,916,933
流動負債合計	8,798,175	8,286,439
固定負債		
長期借入金	3,621,146	3,466,118
退職給付に係る負債	809,035	807,639
その他	255,937	262,293
固定負債合計	4,686,118	4,536,051
負債合計	13,484,294	12,822,490
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,778,385	1,778,385
資本剰余金	1,480,742	1,478,032
利益剰余金	25,739,619	26,094,280
自己株式	△1,287,648	△1,225,686
株主資本合計	27,711,099	28,125,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	45,998	57,699
繰延ヘッジ損益	△2,216	△2,911
為替換算調整勘定	956,079	1,475,191
退職給付に係る調整累計額	293,653	283,369
その他の包括利益累計額合計	1,293,514	1,813,348
新株予約権	70,664	63,140
非支配株主持分	23,620	22,441
純資産合計	29,098,898	30,023,943
負債純資産合計	42,583,192	42,846,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
売上高	8,111,405	7,837,310
売上原価	5,785,130	5,727,890
売上総利益	2,326,274	2,109,420
販売費及び一般管理費	1,682,473	1,744,966
営業利益	643,801	364,453
営業外収益		
受取利息	5,163	5,369
受取配当金	1,634	2,257
受取保険金	4,938	5
為替差益	—	77,649
試作品等売却収入	7,553	5,362
その他	17,515	39,220
営業外収益合計	36,804	129,865
営業外費用		
支払利息	13,841	10,740
為替差損	17,860	—
その他	2,713	10,963
営業外費用合計	34,416	21,703
経常利益	646,189	472,615
特別利益		
補助金収入	—	800,000
特別利益合計	—	800,000
税金等調整前四半期純利益	646,189	1,272,615
法人税等	209,657	430,470
四半期純利益	436,531	842,144
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,899	△2,393
親会社株主に帰属する四半期純利益	431,631	844,538

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
四半期純利益	436,531	842,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,771	11,700
繰延ヘッジ損益	△477	△695
為替換算調整勘定	△269,060	520,328
退職給付に係る調整額	△12,876	△10,283
その他の包括利益合計	△275,643	521,049
四半期包括利益	160,888	1,363,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159,528	1,364,373
非支配株主に係る四半期包括利益	1,359	△1,178

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	4,541,402	1,234,936	5,776,339	—	5,776,339
アジア	823,251	110,998	934,249	—	934,249
北アメリカ	598,000	96	598,096	—	598,096
南アメリカ	500,370	—	500,370	—	500,370
ヨーロッパ	156,979	539	157,519	—	157,519
オセアニア	144,829	—	144,829	—	144,829
アフリカ	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	6,764,834	1,346,571	8,111,405	—	8,111,405
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,764,834	1,346,571	8,111,405	—	8,111,405
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	79,174	79,174	△79,174	—
計	6,764,834	1,425,745	8,190,579	△79,174	8,111,405
セグメント利益	547,587	96,213	643,801	—	643,801

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	合成樹脂 加工製品事業	機械製品事業	計		
売上高					
日本	4,449,129	1,006,498	5,455,628	—	5,455,628
アジア	815,619	322,427	1,138,046	—	1,138,046
北アメリカ	468,880	17,922	486,803	—	486,803
南アメリカ	428,959	—	428,959	—	428,959
ヨーロッパ	119,150	716	119,866	—	119,866
オセアニア	203,990	—	203,990	—	203,990
アフリカ	2,861	1,154	4,016	—	4,016
顧客との契約から生じる収益	6,488,592	1,348,717	7,837,310	—	7,837,310
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,488,592	1,348,717	7,837,310	—	7,837,310
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	70,741	70,741	△70,741	—
計	6,488,592	1,419,459	7,908,052	△70,741	7,837,310
セグメント利益	280,996	83,457	364,453	—	364,453

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年1月31日)
減価償却費	404,674千円	476,792千円
のれんの償却額	6,249	6,249